

中山 11 発走 15:30

第65回中山金杯(GIII) (日刊スポーツ賞)

Table with columns for race numbers (1-14), horse names, jockeys, trainers, and various statistics like age, sex, weight, and past performance.

昨年の覇者ラブリイデ이는その後G12勝を含む5勝を挙げ飛躍。東はこの中山金杯から新たな一年がスタート。外国人騎手に注目。昨年、外国人騎手のワンツリー騎手は今年ベルーフに乗り変わる余地十分で要注意。

競走2000



良1分59秒台 重2分01秒台

成績の見方: ①中②外③逃④捲⑤失⑥失⑦失⑧失⑨失⑩失

Table showing race results for the 2000m race, including horse names, jockeys, and finishing times.

だが、勢いが目立つのは前走重賞Vフルイキ。トップハロンド初距離が鍵となる。ラブリイデ이는初の古馬相手では56は少々見込められたが、今回は弥生②、皐月④着で、中山二千は一変あってもマイルフルイキ56は前走

昇級して半馬身差の着。全5勝を挙げている中山二千なら一気に重賞奪取の可能性。3歳春にはN2Tを制したヤマカカツエースだが、夏以降は中距離で成長を見せた。前走比2キロ増をこなせば、マイルフルイキ57は、昨年⑥着後、AJC杯④着。近況

①ロンギングダンサー(展開鍵) 勢司師前走は距離が長かつ

も悪くないだけに侮れない。ムラだが、福島の前走で②④着のステラウインドも前走据え置き56なら不利はない。ネオリアリズム55は今回初の重賞挑戦。距離・コースOKで血統の魅力十分。

①小島茂師前走は不利を受けたのが痛かった。その影響で首の張りが出たが、今は解消されてきている。状態は良くなった。②尾関師前走は硬さがなごこ2週しかり動いている印象。③ステラウインド(連下級) 尾関師前走は硬さがなごこ2週しかり動いている印象。④ネオリアリズム(圏内) 橋本助手切っているが馬場を鞍上りして強い競馬。折り返せば強い弾けますね。短期放牧を挟んだが、状態はキープ。ハンデも手ごころで十分にチャンデスはあると思っています。

⑤ヤマカツエース(圏内) 池添兼師二千で結果を出してくれた。年末に追い切って輸送もあるの直前は強い重点が、いい動きだった。中山でGIIを勝っているし、馬場も不問。56キロでも楽しみ。

《金杯馬連を実施!》 1月5日火の「中山金杯」及び「京都杯」の馬連を対象とし、通常の払戻金に売上の5%相当額を上乗せして払戻いたします。 JRA 日本中央競馬会

本紙の見解 今が充実期のフルイキ 前走のフルイキは、狭いインから馬群をさばっての重賞初制覇。内容は強く、今が競走馬としての充実期。同じGIIIで0.5キロ増のハンデなら、連勝の公算は高い。菊花賞⑥着、及び千八①②④①着の好内容から距離はOK。トリッキーな中山二千で、インをつける強みは大きい。好仕上がりラブリイデ이는相手が相手。 [上位拮抗]

相馬の単複連 全5勝が中山2000mに集中するラブリイデ이는前走が急上昇。前回は東京でも好走。時計不足も解消した。56キロは見込まれたが、切れ比べでは見込めない。

以展開 過去の実績 ハンデ有利 コース適性 攻め馬状態 7 14 12 6 9 5 1 11 11 2 11 6 4 3 7 12 4 10 1

グリーンチャンネル解説者
黒津 紳一 **松原 正行**

ヤマカツエースに期待。仕掛けた際の反応が抜群だった。56キロでも

逃げる馬不在。スローでかかる可能性のある馬は難解。自在性を考慮し、三角から走らせたい。56キロでも

⑥着に敗れた前走。金銃賞も0秒1差だった。手合の競馬なら首位争い必至。

血が騒ぐ 山野浩一

謹賀新年。本年もよろしくお願ひします。昨年度最大の収穫はエイシンビカリによる香港C勝ちで、負かした相手の多くが、すでに高い世界ランキングでもかかない上を期待できる。ディープインパクトの牡駒で、これだけの大物

11R馬番連勝
 ☆は千倍以上

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
671	351	104	150	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
671	351	104	150	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9	55.9

中山 10R **マイネルフロスト**
 意欲的な稽古を連発 使うごとに上昇

17R 1600 1000 800 600 200 脚いろ

①ロンギング南P良 65.9 51.2 37.2 12.2⑦馬なり先

16南CP良助 手 68.4 53.0 39.6 12.7④馬なり

23南CP良助 手 67.8 52.3 38.3 12.2④馬なり

27南CP良助 手 70.3 55.5 42.2 14.6④馬なり

30南CP良助 手 64.3 49.6 36.4 12.0④強めに併

3南CP良助 手 55.7 40.3 12.8⑦馬なり

前走はもう1本欲しい調整。十分乗って上積み大。【B】

は初めてだし、ストームキャットとのニックも実証された。いずれディープインパクトの後継種牡馬となる大きな期待を集めることとなるだろう。ディープインパクト産駒はこの馬のように遅く使いはじめて、4歳戦あたりで本格化させるのが良いのかもれない。サレるのが良いのかもしれない。ディープインパクト得意なハービンジヤル産駒で、この馬もこのコースで京成杯を勝った。末脚生かす。

し、硬さも気にならない程度。流れしだいの面はあるが、良馬場で見直したいところ。

⑨岩崎助手 調教は以前ほど動かないが、最近馬場入りもスムーズで、心身ともにいい状態。ムズが決まるような展開になれば差しし。

⑩フルーキー (好走可)

◎前川助手 集中力が備わり、本格化してきた。折り合いは心配ないので二千はこなせると思う。こも勝ち負け。

⑪メイショウカンバク (着まで)

◎佐藤助手 放牧明けだと心身ともにセットがある。ハンドレまうなところがある。ハンドレを生かしてどこまで頑張れるか。

⑫パロンドウウォール (穴)

◎池内助手 前走も終い脚を使って伸びてきたけど、レースが消極的だった感じ。状態は徐々に向上している。もう少し流れていければ重賞でも十分やれていい馬。

⑬マイネルディーン (入着感)

◎鹿戸雄輔 前走はレースに向けて徐々に体が減っていった。本調子ではなかった。週2本しっかりやりながら目方が増えている。今は体調面もOK。流れが向けばもう少し。

⑭ライズトゥフューム (上位可)

◎加藤征師 放牧を挟んだが、調教の動きが良く、非常な状態。56キロは若干見込まれたが、中山二千は実績通りベストの舞台。ハンドレキップに恥をかかせないようなレースを。

②スピリッツ栗良 85.7 69.6 54.8 40.6 12.6⑦一杯道

30栗CW良助 手 84.3 67.8 52.7 39.5 12.5⑦一杯道

3栗CW良助 手 74.9 59.7 45.2 15.2⑤馬なり

年末に追って直前は控えめ。緩く映り馬体増注意。【C】

③ステラウイ南W箱 52.4 38.4 12.6⑧一杯道併

19美坂助手 563 403 131G前強

24南BW箱助 手 83.5 67.6 52.9 38.8 12.4⑧G前強

27美坂助手 568 409 138馬なり

30南BW箱助 手 67.1 51.8 38.2 12.6⑧馬なり先

3南BW箱助 手 57.0 41.6 13.0⑧馬なり

年末に追って直前は調整。素軽い動きで好仕上げ。【B】

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

中山金杯優勝馬の前走成績

年	ウイロ	シャドウゲイト	アドマイヤフジ	アキオ	コスモフアントム	フェデリコ	タマモリ	オアシス	ラブリ
18	1	1	1	1	1	1	1	1	1
19	1	1	1	1	1	1	1	1	1
20	1	1	1	1	1	1	1	1	1
21	1	1	1	1	1	1	1	1	1
22	1	1	1	1	1	1	1	1	1
23	1	1	1	1	1	1	1	1	1
24	1	1	1	1	1	1	1	1	1
25	1	1	1	1	1	1	1	1	1
26	1	1	1	1	1	1	1	1	1
27	1	1	1	1	1	1	1	1	1

④ネオリア南W箱 55.6 40.3 13.1⑦馬なり遅

20南BW箱助 手 57.4 42.7 13.9⑤馬なり

24南BW箱助 手 68.9 53.9 39.8 13.2⑥馬なり

27南BW箱助 手 72.1 57.4 42.7 14.0⑦馬なり

31南BW箱助 手 69.8 55.3 40.1 12.7⑥馬なり併

3南BW箱助 手 56.7 41.7 13.8⑤馬なり併

(新馬レビューマナーの内を走走併)

年末追って直前は折り合い重視。好気合、絶対好調。【A】

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

スタップ予想

脚質	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
②	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
③	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
④	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑥	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑧	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑨	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑩	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑪	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑫	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑬	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
⑭	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

⑤ヤマカツエ栗CW 85.1 68.9 54.0 39.6 12.2⑦一杯道

6栗助手 573 409 131馬なり

16栗CW箱助 手 82.3 66.8 52.6 38.9 12.0⑨強めに

23栗CW助 手 83.8 67.4 52.5 38.9 13.0⑤一杯道

31栗CW助 手 82.3 66.8 52.2 38.6 12.3⑥一杯道

3栗CW良助 手 71.0 54.6 39.6 11.9⑦直強め

坂路併用で十分に乗り込む。重さなく、仕上がり。【B】

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

中山金杯

年	ウイロ	シャドウゲイト	アドマイヤフジ	アキオ	コスモフアントム	フェデリコ	タマモリ	オアシス	ラブリ
23	1	1	1	1	1	1	1	1	1
24	1	1	1	1	1	1	1	1	1
25	1	1	1	1	1	1	1	1	1
26	1	1	1	1	1	1	1	1	1
27	1	1	1	1	1	1	1	1	1
28	1	1	1	1	1	1	1	1	1
29	1	1	1	1	1	1	1	1	1
30	1	1	1	1	1	1	1	1	1

⑥フラアンジ南W箱 65.9 51.9 37.9 13.0⑦一杯道

16南BW箱助 手 83.4 67.1 52.9 39.1 13.1⑦馬なり

20南BW箱助 手 54.4 39.1 12.9⑨馬なり

23南BW箱助 手 67.7 53.1 38.9 13.4⑦一杯道

30南BW箱助 手 41.9 13.2⑨馬なり

2南BW箱助 手 84.4 68.5 53.8 39.4 12.6⑧直一杯

いつもどおり意欲的な調教を消化。力は出せる。【B】

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

① 25.3 ② 5.4 ③ 11.1 ④ 16.1 ⑤ 17.8 ⑥ 12.4 ⑦ 24.7 ⑧ 10.9 ⑨ 7.6 ⑩ 12.9 ⑪ 7.3 ⑫ 4.0

⑦フルーキー栗良 71.5 54.7 39.4 12.0⑧馬なり先

27栗助手 553 405 130馬なり併

30栗CW良助 手 55.3 40.1 12.1⑦馬なり遅

3栗助手 547 396 129馬なり

バネを利かせて好反応を示す。デキは高値で安定。【A】

☆中山金杯の事前発表馬体重☆

馬名	馬体重(前走比較)	計量日	計量地
スピリッツ	490 (486) +4	1/2	美浦
ステラウイ	502 (498) +4	1/3	美浦
ネオリアリズム	500 (500) ±0	1/2	美浦
パロンドウウォール	492 (484) +8	1/3	美浦
フラアンジ	518 (510) +8	1/2	美浦
ブライトエンブレム	494 (488) +6	1/3	美浦
フルーキー	492 (484) +8	1/3	美浦
ベルーフ	492 (484) +8	1/3	美浦
マイネルディーン	464 (444) +20	1/2	美浦
マイネルフロスト	494 (484) +10	1/2	美浦
メイショウカンバク	488 (484) +4	1/2	美浦
ヤマカツエース	500 (486) +14	1/3	美浦
ライズトゥフューム	500 (484) +16	1/2	美浦
ロンギングダンサー	496 (492) +4	1/3	美浦

⑧ライズトゥ南P良 71.3 55.9 40.8 12.9⑨馬なり併

9南BW箱助 手 69.0 54.0 39.8 13.3⑦馬なり併

16南BW箱助 手 69.5 53.9 39.9 13.5⑦馬なり併

23南BW箱助 手 66.8 51.8 37.9 12.4⑤一杯道併

31南BW箱助 手 69.4 54.4 39.6 13.0⑦馬なり併

3南BW箱助 手 57.3 43.0 13.5⑥馬なり

年末までに態勢整う。体を大きく見せて、好気配。【B】

⑨メイショウカンバク (着まで)

◎佐藤助手 放牧明けだと心身ともにセットがある。ハンドレまうなところがある。ハンドレを生かしてどこまで頑張れるか。

⑫パロンドウウォール (穴)

◎池内助手 前走も終い脚を使って伸びてきたけど、レースが消極的だった感じ。状態は徐々に向上している。もう少し流れていければ重賞でも十分やれていい馬。

⑬マイネルディーン (入着感)

◎鹿戸雄輔 前走はレースに向けて徐々に体が減っていった。本調子ではなかった。週2本しっかりやりながら目方が増えている。今は体調面もOK。流れが向けばもう少し。

⑭ライズトゥフューム (上位可)

◎加藤征師 放牧を挟んだが、調教の動きが良く、非常な状態。56キロは若干見込まれたが、中山二千は実績通りベストの舞台。ハンドレキップに恥をかかせないようなレースを。

競馬人情 吉川良

2016年、あけましておめでとう(ございませう)。
今年も「日刊競馬」を、そして私の「競馬人情」を、よろしくお願ひ申します。

競馬場で、ウインズで、「日刊競馬」を手にかけている人を目にするとうれしくなるとは、「ありがたい(ございませう)」と心で言っていて、かるく頭をさげます。

もう長いこと、「競馬人情」を書かせていただいているので、「日刊競馬」が私の心体の一部分になっているのではありません。
「あなた、いつ会っても明るいね」と競馬場でウインズで会う友

編集長の爪

6面の上段に昨15年の騎手ランキングが載っているが、2年連続1位の戸崎圭太、福永祐一、3月から乗り始めたM・デムーロが118勝。4月から出走のC・ルメールが112勝。勝率、連対率ともに断然はルメール、デムーロだった。今年通年の騎乗なら、勝利数で1、2位があるかもしれない。
今週から(冬期休みを使って)短期免許の外国人騎手が4人騎乗する(マクドノー騎手は1カ月前、他は2カ月の予定)。
F(フランシス)・ペリー騎手(35)は昨年のラプリーデーなどでもう中山金杯を3年連続連対。昨秋に乗っていたT(トミー)・ペリー騎手とは別人。
昨年19勝。14年は20勝もしてJRA通算66勝(重賞5勝)。本国アイルランドでは2年連続4位。すっかり日本に慣れ親しんでいる。
D(デクラン)・マクドノー騎

だちによく言われます。
そんなにネアカでもなく、どちらかというと、考え方としてはネクラだなぁと自分のことを感じますが、だんだんと同じき人になるにつれ、

「おい、明るくないとき、生きている意味がないのかもしいぞ」と思いはじめました。
どんなに馬券がハズれても、レバタラビールをのんで、「馬券をやっているということが幸せなんだよ。馬券でハズれるから災難にアタらないんだ」とひとりごとを言い、なるべく明るくしているわけです。
中山金杯はブライトエンブレムからベルフとフルキーへの馬単2点。京都金杯はトリーセンスターダムからエキストラエントへの馬単1点。

手(35)もアイルランド国籍。13年に短期免許で来日し【31759】の成績を残し、今回は2度目の来日。本国では11年のフェニックスS(G1)などを制している。日本では13年にナンシーシャインで春菜賞を勝った。13年は愛国でアガ・カーン殿下の専属騎手だった。
S(シェーン)・フォーリー騎手(27)もアイルランド国籍。昨年はアイルランド騎手成績3位。サクセスデイズで愛ターピートリアルを制した。
短期免許で日本に乗るのは今回が初めて。だが、14、15年はアイルランドの騎手ランキングは前出のF・ペリー騎手と差がなく大活躍もありえる。
L(ルイス)・コントレラス騎手(29)はメキシコ国籍。短期免許は初めてだが、14年の国際騎手招待で来日し【0005】。
拠点は北米のカナダで、11、12年のカナダのリーディング騎手だった。11年にはカナダの3冠レースをすべて制している。日本で乗ることを熱望している。注目したい。(柏木)

発見馬 スゴイ



小木曾大祐

明けましておめでとう(ございませう)。相手選びの1頭にも加えて貰えるように、今年も頑張りますので、引き続きよろしくお願ひします。
今年の中山金杯は、逃げ馬不在のハンデ戦。難解度MAXで興奮しますが、狙いはブライトエンブレム。前走の菊花賞は勝負どころ、追い上げようとした所で前をカットされる不利。上がりの速い競馬で、踏み遅れは痛恨の不利でしたが、それでも外出してからは、確実に着差を詰めてきました。

弥生賞・皐月賞から中山二千は好材料。クラシック路線を戦ってきた強さを見せつけます。お早いレースからは②Rのナポレオンズワード。跳びが大きい、スピード優先の東京よりスクリミ重視の中山向き。ひとマクリの競馬を期待します。

☆関東所属ジョッキー

騎手名	騎乗回数	勝利	連対	複勝
戸田 彪吉	26	4	16	24
横内 北三	24	2	16	22
田村 田	23	2	17	21
豊浦	22	1	16	21
浦	21	1	16	20
浦	20	1	15	20
浦	19	1	14	19
浦	18	1	13	18
浦	17	1	12	17
浦	16	1	11	16
浦	15	1	10	15
浦	14	1	9	14
浦	13	1	8	13
浦	12	1	7	12
浦	11	1	6	11
浦	10	1	5	10
浦	9	1	4	9
浦	8	1	3	8
浦	7	1	2	7
浦	6	1	1	6
浦	5	1	0	5
浦	4	1	0	4
浦	3	1	0	3
浦	2	1	0	2
浦	1	1	0	1

期待の長距離 大川浩史



昨年の万葉Sは最初の千メートルが63秒1、次の千メートルが65秒7で、二千通過2分8秒8。その後もなかなかペースが上からず、結局ラスト11秒1、11秒2。三千メートルも走ったが、最後の四百メートルで勝負が決まった。
4コーナー先頭のシャンパニユを一瞬にして抜き去ったス

能力指数について
スタッフ欄に1~100で表示してあります。なお、未勝利馬(古馬も含む)については的確な能力数算出が不可能なため判愛させていただきます。また障害未勝利戦も同様の視点から能力数はありません。

藤本貴久の「呷」



中山8R ドリームドルチェ
明けましておめでとう(ございませう)。後厄も終わり今年は運氣(運)といきたいところだが、アツプしているのは体重。減るのは変わらず頭部!何とかがしてくり、「ベストのタート千二へ戻れば好勝負」

◆トップハンデ成績(中山金杯)

18年 ヴィクターロザ	57	1
アサカデイファイト	57	2
ユキノサンロイヤル	57	1
カンファアールベスト	57	2
19年 アサカデイファイト	57	1
ヴィクターロザ	57	1
20年 トウショウナイト	58	1
21年 アドマイヤフジ	58	1
アサカデイファイト	58	1
22年 ホッコーパドゥ	58	1
23年 アクシオン	57	1
24年 ネヴァアブソ	58	1
25年 タッチミ	57	1
26年 ヒットザター	57	1
27年 シンゲン	57	1
27年 オーシャンブルー	57	1
27年 ロゴタイプ	58	1

テラウインドは最後に追い詰められた。長距離適性をまったく感じさせない内容で、その後は結局、二千の七夕賞で②着。今日は二千の中山金杯に出る。
今年長距離適性がモノを言うレースになることを期待してトウシンモンステラ本命。この馬のベストパフォーマンスは一昨年10月の京都二四で、京都外回りには珍しくハイペースになってスタミナを生かした。その後は(得意の京都では)スローにはまり続けているが、この距離なら3コーナー手前からスパートして好勝負になる。